

バックアップのしかた

録画されたデータを USB メモリーに保存することができます。本機前面の USB1/USB2 端子に USB メモリーを接続し、バックアップ操作を行ってください。バックアップ後は、指定した時間がバックアップできていることを確認してください。

データ保存形式は以下の3種類から選択できます。

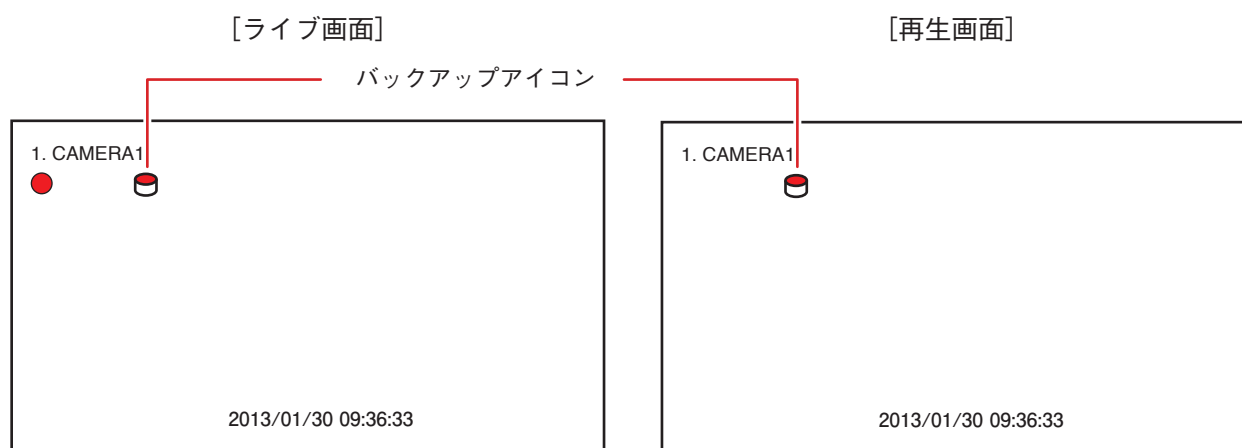
データ形式	バックアップデータ			再生方法	参照ページ
	映像	音声	カメラ台数		
DVR Media Player 形式	○	○	最大4台	PCで再生できます。 (再生用ソフトウェアは必要ありません)	P. 5-14
独自形式	○	○	最大4台	・本機で再生できます。 ・DRNETがインストールされているPCで再生できます。	P. 5-14
AVI形式	○	○	1台	PCで再生できます。 (「Windows Media Player」が必要です)	P. 5-17

ご注意

- USBメモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- USBメモリーは 2GB 以上を使用してください。
- 同時に複数の USBメモリーを接続して使用しないでください。
- バックアップ中は USBメモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。
- 録画上書きによりバックアップ中の録画データが消去されると、その時点でバックアップは終了されます。
- バックアップ中に DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーと接続しているときは、バックアップ時間が長くなることがあります。
- バックアップデータに対するイベント検索はできません。
- 外付け USB HDD は使用しないでください。

バックアップ中の OSD 表示

ライブ画面や再生画面のバックアップ中の OSD は下図のように表示されます。



バックアップアイコン : バックアップの形式によって色別のアイコンを表示します。

赤色 : バックアップ中

青色 : クリップ作成中

白色 : 簡易バックアップ中(再生画面のみ)

メモ バックアップ中は、すべてのカメラチャンネルにバックアップアイコンが表示されます。

■ 複数のカメラをバックアップする (バックアップ)

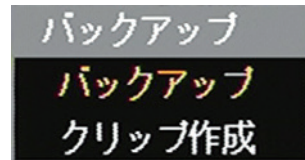
同じ時間に録画された複数のカメラチャンネルの映像データと音声データを1つのファイルにしてUSBメモリーにバックアップします。バックアップを行うと、バックアップアイコンが表示されます。(P. 5-13 「バックアップ中の OSD 表示」) バックアップによって、PC で簡単に再生できる DVR Media Player 形式(実行ファイル形式)と本機や DRNET で再生できる独自形式のファイルを作成できます。

ご注意

- DVR Media Player 形式のバックアップは、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。また、独自形式のバックアップは、USBメモリーが FAT32 でフォーマットされている場合、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップの完了メッセージが表示されるまで USBメモリーを取り外さないでください。
- バックアップ権限を持つユーザーだけが使用できます。

1 ライブ画面で右クリックする。
ライブ操作メニューが表示されます。

2 ライブ操作メニューから「バックアップ」をクリックする。
バックアップ選択メニューが表示されます。



3 バックアップ選択メニューの「バックアップ」をクリックする。
バックアップ設定画面が表示されます。



4 各項目を決定して、バックアップを開始する。

[バックアップ設定画面]



- ① ソース : 「録画」と表示されます。
- ② デバイス : 「USB Storage」と表示されます。
- ③ ファイル名 : ファイル名を変更できます。 [↩] をクリックすると「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 59 文字まで入力できます。(P. 3-14 「文字を入力する」)

[x] [モ] アルファベットと数字以外に、使用できる記号は、「_」[-]「.」[;] です。

- ④ 開始 : 開始日時を設定します。それぞれの数値をクリックし、 で数値を変更します。
 - ⑤ 終了 : 終了日時を設定します。それぞれの数値をクリックし、 で数値を変更します。
 - ⑥ カメラ : バックアップするカメラ番号を選択します。バックアップの形式が独自形式や DVR Media Player 形式の場合は、複数のカメラチャンネルを選択できます。
 - ⑦ DVR Media Player : DVR Media Player 形式でバックアップを行う場合にチェックを入れます。チェックなしの場合、独自形式でバックアップを行います。
 - ⑧ パスワード : チェックを入れるとバックアップデータにパスワードを設定できます。
 - ⑨ ステータス : 設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。バックアップを開始するとバックアップの進捗状態を表示します。進捗状態表示が 100% になると終了処理を行い、完了画面が表示されてバックアップが終了します。
- ご注意**
- バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。完了画面が表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- ⑩ アップデート : 外部デバイスの接続状態を更新します。
 - ⑪ スタート : USB1/USB2 端子に USB メモリーを接続し、クリックしてください。バックアップを開始します。
パスワードにチェックが入っている場合は、バックアップパスワード設定画面が表示されます。パスワードを保存するとバックアップを開始します。(参照 P. 5-16「バックアップパスワードを設定する」)
 - ⑫ 閉じる : 元の画面に戻ります。

メモ

バックアップを開始すると⑪の「スタート」は「キャンセル」に変わります。「キャンセル」をクリックすると、「中止しますか?」というメッセージが表示されます。バックアップを停止する場合は、「はい」を選択してください。

[同一時刻に録画データが重なっている場合のバックアップ]

時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたとき、同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時間がバックアップ開始時刻と終了時刻の中に含まれている場合、「スタート」をクリックしたときにバックアップ選択画面が表示されます。



- [1] を選択 : 開始時刻から終了時刻まで重複したデータもすべてバックアップを行います。
- [2] を選択 : あとに録画したデータの時刻から終了時刻までバックアップを行います。先に録画したデータはバックアップされません。

ご注意

開始時刻または終了時刻が重複した時間の中に含まれる場合は、データの一部をバックアップできません。重複した時間より長くなるように、開始時刻か終了時刻を調整してください。

[バックアップパスワードを設定する]

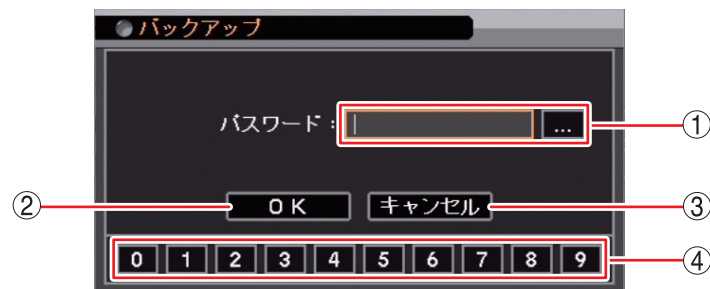
DVR Media Player 形式、または、独自形式のバックアップデータにパスワードを設定できます。バックアップ設定画面で「パスワード」にチェックが入っている場合に、「スタート」をクリックすると表示されます。(参照 P. 5-14 「複数のカメラをバックアップする(バックアップ)」、P. 5-19 「再生中にバックアップする(簡易バックアップ)」)

パスワードは最大 8 文字まで入力できます。

ご注意

パスワードはバックアップしたデータを再生するために必要な情報です。パスワードを忘れないよう、メモを取るなどして大切に保管してください。

[バックアップパスワード設定画面]



- ① パスワード : ... をクリックすると「文字入力画面」が表示されます。
登録したいパスワードを入力します。入力した文字は「*」で表示されます。(参照 P. 3-14 「文字を入力する」)
- ② OK : パスワードを保存してバックアップを開始します。
- ③ キャンセル : 設定を保存せずに「バックアップ設定画面」に戻ります。
- ④ 数字ボタン : 0～9の数字を入力します。

■ AVI 形式でバックアップする(クリップ作成)

1つのカメラチャンネルの映像データと音声データを1つのファイルにしてUSBメモリーにバックアップします。

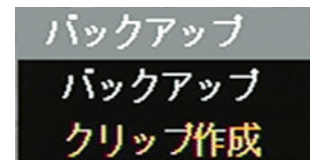
バックアップを行うとバックアップアイコンが表示されます。(☞ P. 5-13 「バックアップ中の OSD 表示」)
バックアップしたデータは AVI 形式で作成され、Windows Media Player で再生できます。

ご注意

- バックアップデータのファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- バックアップ権限を持つユーザーだけが使用できます。
- カメラ名に日本語(漢字、ひらがな、カタカナ)を入力した場合は、カメラ名が正しく表示されません。(☞ P. 4-5 「使用するカメラとカメラ名称を決める」)

1 ライブ画面で右クリックする。
ライブ操作メニューが表示されます。

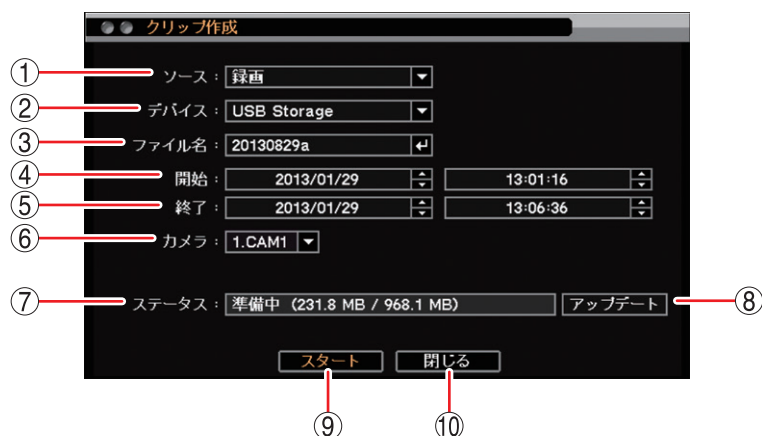
2 ライブ操作メニューから「バックアップ」を選択し、
クリックする。
バックアップ選択メニューが表示されます。





3 バックアップ選択メニューの「クリップ作成」をク
リックする。
クリップ作成画面が表示されます。

4 各項目を決定して、バックアップを開始する。

[クリップ作成画面]



- ① ソース : 「録画」と表示されます。
- ② デバイス : 「USB Storage」と表示されます。
- ③ ファイル名 : ファイル名を変更できます。⏏ をクリックすると「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 59 文字まで入力できます。(☞ P. 3-14 「文字を入力する」)
メ モ アルファベットと数字以外に、使用できる記号は、「_」 「-」 「.」 「;」 です。

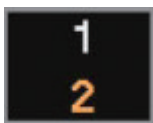
- ④ 開始 : 開始日時を設定します。年・月・日または時・分・秒をクリックし、 で数値を変更します。
- ⑤ 終了 : 終了日時を設定します。年・月・日または時・分・秒をクリックし、 で数値を変更します。
- ⑥ カメラ : バックアップするカメラ番号を選択します。クリップ作成では、1チャンネルのみ選択できます。
- ⑦ ステータス : 設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。バックアップを開始するとバックアップの進捗状態を表示します。進捗状態表示が100%になると終了処理を行い、完了画面が表示されてバックアップが終了します。
ご注意
バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。完了画面が表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- ⑧ アップデート : 外部デバイスの接続状態を更新します。
- ⑨ スタート : USB1/USB2 端子に USB メモリーを接続し、クリックしてください。バックアップを開始します。
- ⑩ 閉じる : 元の画面に戻ります。

メモ

バックアップを開始すると⑨の「スタート」は「キャンセル」に変わります。「キャンセル」をクリックすると、「中止しますか?」というメッセージが表示されます。バックアップを停止する場合は、「はい」を選択してください。

[同一時刻に録画データが重なっている場合のバックアップ]

時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたとき、同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時間がバックアップ開始時刻と終了時刻の中に含まれている場合、「スタート」をクリックしたときにバックアップ選択画面が表示されます。



- 「1」を選択 : 開始時刻から終了時刻まで重複したデータもすべてバックアップを行います。
- 「2」を選択 : あとに録画したデータの時刻から終了時刻までバックアップを行います。先に録画したデータはバックアップされません。

ご注意

開始時刻または終了時刻が重複した時間の中に含まれる場合は、データの一部をバックアップできません。重複した時間より長くなるように、開始時刻か終了時刻を調整してください。

■ 再生中にバックアップする(簡易バックアップ)

再生表示しているカメラチャンネルの映像データと音声データをバックアップできます。バックアップを行うと、再生画面にバックアップアイコンが表示されます。(参照 P. 5-13 「バックアップ中の OSD 表示」)
簡易バックアップによって、PC で簡単に再生できる DVR Media Player 形式(実行ファイル形式)と本機や DRNET で再生できる独自形式のファイルを作成できます。

ご注意

- DVR Media Player 形式のバックアップは、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。また、独自形式のバックアップは、USB メモリーが FAT32 でフォーマットされている場合、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- バックアップ権限を持つユーザーだけが使用できます。
- 逆再生や早送り、早戻し、一時停止中は、簡易バックアップを使用できません。

メモ

- 4 分割画面で再生している場合は、表示しているカメラチャンネルをバックアップします。
- 簡易バックアップ中は再生速度が通常より遅くなります。

1 再生中(速度 1 倍時)に右クリックをする。
再生操作メニューが表示されます。

2 再生操作メニューの「バックアップ」をクリックする。
簡易バックアップ画面(次ページ)が表示されます。


3 簡易バックアップを設定して「スタート」をクリックする。
簡易バックアップを開始し、再生画面に戻ります。

4 簡易バックアップを終了するとき、一時停止アイコンをクリックする。
「中止しますか?」というメッセージが表示されます。

5 「はい」をクリックする。
「簡易バックアップ完了」のメッセージが表示されます。

再生中(速度1倍速時)
「バックアップ」

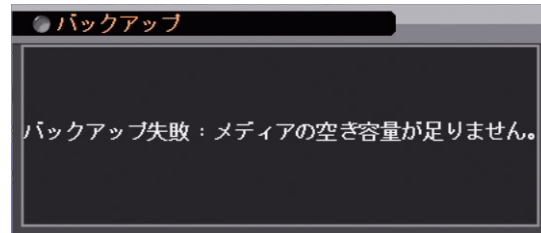


- ① デバイス : 「USB Storage」と表示されます。
- ② ファイル名 : ファイル名が変更できます。  をクリックすると「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大59文字まで入力できます。(参照 P. 3-14 「文字を入力する」)
- メモ**
アルファベットと数字以外に、使用できる記号は「_」「-」「.」「;」です。
- ③ DVR Media Player : DVR Media Player 形式でバックアップを行う場合にチェックを入れます。チェックなしの場合、独自形式でバックアップを行います。
- ④ パスワード : チェックを入れるとバックアップデータにパスワードを設定できます。
- ⑤ ステータス : 設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。
- ⑥ アップデート : 外部デバイスの接続状態を更新します。
- ⑦ スタート : USB1/USB2 端子に USB メモリーを接続し、クリックしてください。簡易バックアップを開始し、再生画面に戻ります。
パスワードにチェックが入っている場合は「バックアップパスワード設定画面」が表示されます。パスワードを保存すると簡易バックアップを開始します。
(参照 P. 5-16 「バックアップパスワードを設定する」)
- ⑧ 閉じる : 元の画面に戻ります。

■ バックアップのエラーメッセージ

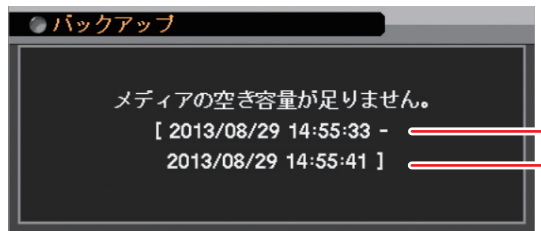
- ① USBメモリーの空き容量が不足している場合、右のエラーメッセージを表示します。

- マウスのクリック、または右クリックでエラーメッセージを消去します。
- USBメモリーを交換し、バックアップを開始してください。



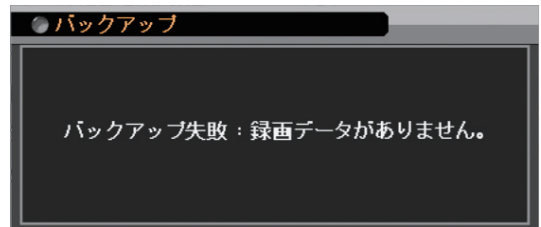
- ② バックアップ中に USBメモリーの空き容量が不足した場合、右のエラーメッセージを表示します。表示された期間まではバックアップが完了しています。

- バックアップを続けて行う場合は、エラーメッセージの終了日時を記録してください。
- マウスのクリック、または右クリックでエラーメッセージを消去します。
- USBメモリーを交換し、再びバックアップ画面を表示してください。
- バックアップの開始日時を記録した終了日時に変更して、バックアップを再開してください。



開始日時
終了日時

- ③ 指定した範囲に録画データがない場合は、右のエラーメッセージが表示されます。マウスのクリック、または右クリックでエラーメッセージを消去します。



- ④ バックアップ中に USBメモリーを取り外すと、右のエラーメッセージが表示されます。マウスのクリック、または右クリックでエラーメッセージを消去します。

